

## 高等学校 第2学年 地理歴史科（地理）学習指導案（細案）

指導日時：平成30年10月18日（木）第5校時  
 指導学級：第2学年5組（男子15名，女子24名）  
 指導者：宮城県石巻西高等学校 教諭 千島 真未

### 1 単元名 [地理B] 農林水産業（二宮書店『新編 詳解地理B』）

#### 2 単元の目標

世界の農業地域について、基礎的知識を習得させるとともに、農業地域が形成される要因を気候や地形、歴史的背景を踏まえて考察させ、生徒の「地理的思考力」の育成を目指す。現代世界で発生している食料問題との関係を考え、今後どのような行動が求められるのか、国際社会に生きる日本人として主体的に捉えることのできる力を習得する。

#### 3 指導に当たって

##### （1）単元について

本単元は、現行学習指導要領地理Bの内容（2）「現代世界の系統地理的考察」の「イ 資源、産業」を受けて設定した単元である。「世界の資源・エネルギーや農業、工業、流通、消費などに関する諸事象を取り上げ、それらの分布や動向などについて考察させるとともに、現代世界の資源・エネルギー、食料問題を大観させる。」と示されている。本単元である農林水産業は前項目である自然環境と大きく関わる内容であり、農業地域の形成は、地形・気候との関わりが大きく、また環境問題を引き起こす原因にもなっている。それらとの関わりを意識させることで知識の連鎖を体感させる。また、農業は人間生活にとってなくてはならないものであり、地域ごとの違いを考察し、経済とのつながりを気付かせる。先進国と発展途上国との農業形態や食料問題の違いに触れることで世界的視野をもつ生徒の育成を目指し、今後どのような行動が求められるか考えさせる単元とする。

##### （2）生徒の実態

2年5組は文系クラスであり、全ての生徒が地理を選択している。授業は落ち着いて取り組んでいるが、積極的に発言をする生徒は少ない。先日学級で実施したアンケートでは次のような結果が出た。

地理を学ぶことは好きか。	はい	11人	いいえ	21人
地理の勉強は得意か。	はい	3人	いいえ	34人
地理は暗記科目だと思うか。	はい	31人	いいえ	6人
グループワークは好きか。	はい	23人	いいえ	14人
地理と生活の繋がりを感ずるか。	はい	18人	いいえ	19人

地理に対して苦手意識をもっている生徒が多い。さらに地理を暗記と考える生徒がほとんどである。「地理を学ぶことが好き」と答えた11人の生徒のうち、9人は地理と生活の繋がりを感ずると回答していた。また、グループワークに対して好意的な意見をもつ生徒が多い結果となった。各教科でグループワークに積極的に取り組んでおり、抵抗は少ないと考えられる。地理を学ぶことが好きではないと答えた生徒もグループワークは好きと答えており、グループワークの時間をつくることで、生徒の苦手意識を払拭していきたい。しかし、グループワークが好きではないと答える生徒も約3割いるため、一斉・ペア・グループ・個別などバランス良く取り入れる必要がある。

##### （3）指導について

地理は暗記科目だと考えている生徒の「地理的思考力」の育成のために、農業地域が形成される要因を関連づけて考えることを意識させる。そのためには確実な知識の定着が必要であり、復習を含めるなど丁寧な指導を行う。さらに、今後国際社会に生きていくために、様々な問題に対して主体的に考える態度を育成したい。そのための手段として、ペアワークやグループワークなどアクティブラーニングを取り入れることで、自らの意見を持ち、他の意見も受け入れ、考えを発展させていく体験を積ませる。食料問題ではマインドマップを使用して知識の整理と思考の発展を体験させる。地理に対する苦手意識を払拭するために学習事項と生活との関わりを伝えながら授業を進める。

#### 4 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
世界の資源と、産業に対する関心と課題意識を高め、それらを系統地理的に追求する学習に意欲的に取り組み、世界の資源、産業の多様性や地域性をとらえる視点や方法を身につけようとしている。	世界の資源、産業に関する地理的事象から課題を設定し、それらを系統地理的に追求するとともに、世界の資源、産業を系統地理的にとらえる視点や方法を考察している。	世界の資源、産業に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択、活用することを通してそれらを系統地理的に追求する技能を身につけるとともに、そうした追求、考察の課程や結果とまとめたり、発表したりしている。	世界の資源、産業に関する多様性や地域性を大観するとともに、世界の資源、産業を系統地理的にとらえる視点や方法を理解し、それらの知識を身につけている。

## 5 単元の指導と評価の計画（全7時間）

	学習内容	学習活動における主な具体的評価規準	評価方法
第1時	農業地域の形成条件 人口希薄な地域でみられる農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業地域と形成する要因として自然的条件や社会的・文化的条件を知り、分布を理解することができる。（知識・理解）</li> <li>人口希薄な地域でみられる農業の特徴を考え、まとめることができる。（思考・判断・表現）</li> </ul>	授業プリント 観察
第2時	人口の多いアジアの農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の農業との類似点・相違点を知り、同じアジアの文化圏に暮らす日本人として、関心を持ち、積極的に授業に参加している。（関心・意欲・態度）</li> <li>降水量1000mmの等値線と農業の関係を地図上で読み取ることができる。（技能）</li> </ul>	授業プリント 観察
第3時	商業的性格の強い農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>商業的農業が発達した背景を理解している。（知識・理解）</li> <li>生産性の向上と、気候にはどのような関わりがあるのか考え、農業の専門分化が進んだ要因を説明することができる。（思考・判断・表現）</li> </ul>	授業プリント 観察
第4時	世界農業の動向	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業に関して現代世界ではどのような動向がみられるのか理解している。（知識・理解）</li> <li>国際社会に生きる日本人として、農業の今後の展望について関心を持ち、授業に取り組むことができる。（関心・意欲・態度）</li> </ul>	授業プリント 観察
第5時	世界と日本の林業 世界と日本の水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本ではどのような違いがみられるのか、統計地図やグラフを読み取ることができる。（技能）</li> <li>日本の林業・水産業のこれからを主体的に考え、日本の農林水産業について関心を持っている。（関心・意欲・態度）</li> </ul>	授業プリント 観察
第6時	世界の食料問題 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の食料問題について正確に理解している。（知識・理解）</li> <li>食料問題が発生している要因を考え、今後どのように解決していくべきか自分の意見を述べるすることができる。（思考・判断・表現）</li> </ul>	授業プリント 発表 観察
第7時	日本の農業と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフを用いて、日本と他の国との農業の違いを読み取ることができる。（技能）</li> <li>日本の農業に関する問題をどのように解決していくか考える姿勢が見られる。（関心・意欲・態度）</li> </ul>	授業プリント 観察

## 6 本時の指導

### (1) 題材名 「世界の食料問題」

### (2) 本時のねらい

- 世界の食料問題についての理解を深めるとともに、その原因を考察し、今後自分たちがどのような行動をとるべきか考えるきっかけとする。

### (3) 本時の評価規準

評価の観点	具体的評価規準	Aとする具体的な姿
知識・理解	世界ではどのような食料問題が発生しているのか理解している。	なぜ世界の食料問題が発生しているのか、その背景を含めて原因も理解している。
思考・判断・表現	知識をもとにマインドマップを作成し、発表することができる。	今後の展望についてマインドマップに書き込み、これからの自分たちの行動について発表することができる。

### (4) 学習指導上の工夫

- 食料問題が発生している現場を映像でみせることで、世界で発生している食料問題を現実のものとして捉えられるようにする。
- マインドマップを利用することで、自分の考えを整理・発展させることを目指す。

### (5) 準備物

- 教科書（『新編 詳解地理B』二宮書店）
- 地図帳（『新詳高等地図』帝国書院）
- 自作プリント
- 色ペン
- プロジェクター
- ホワイトシート
- ipad

(6) 本時の展開

段階	学習活動と主な発問(●予想される生徒の反応)	形態	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	<p>1 本時の学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「世界で発生している食料問題を知り, これからの行動を考える。」</p> </div> <p>「食料問題」というキーワードで思いつく言葉を思いつく限りワークシートに書き込む。 ●「貧困」「飢餓」「食の安全性」</p>	一斉	<p>難しく考えず, 思いついた言葉をできるだけ多く書き込むように伝える。</p> <p>本時の内容や今まで農林水産業の単元で学習してきた知識を利用してマインドマップを作成することと, そのマインドマップについて発表をしてもらうということを伝える。</p>	
展開 1 (15分)	<p>2 どのような問題があるのか映像で確認する。</p> <p>(1) NHK高校講座 【資源と産業】編 世界の食料問題に目を向けてみよう 「先進国の食料問題」 (3分43秒) を観る。 ●メモをとる 「食品ロス」「日本の食品ロスは600万トン」「牛肉1kg=穀物10kg」「トウモロコシが飼料となる」「バイオエタノール」</p> <p>(2) NHK高校講座 【資源と産業】編 世界の食料問題に目を向けてみよう 「発展途上国の食料問題」 (3分35秒) を観る。 ●メモをとる 「人口増加」「干ばつ」「サヘル」「過耕作・過放牧」「バッタ」「紛争」「難民」「プランテーション」「モノカルチャー経済」「子供が6秒に1人亡くなる」</p>	一斉  個別  一斉  個別	<p>マインドマップを作成するので, メモを取るように伝える。</p> <p>映像を観終わったところでまとめる時間を2分とる。</p> <p>1つめと同様にマインドマップを作成するのでメモを取るように伝える。</p> <p>映像を観終わったところでまとめる時間を2分とる。</p>	映像を観ながら, どのような食料問題が発生しているか理解できているか。(知識・理解)
展開 2 (15分)	<p>3 マインドマップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～4人の班をつくり, グループに一枚A3の紙を配布する。</li> <li>・用紙は横にして使用し, 真ん中のスペースに「食料問題」と書き込むように指示する。</li> <li>・「食料問題」からブランチを伸ばし, 「食料援助」を書くように伝える。</li> <li>・引き続きマインドマップを作成するように指示する。</li> </ul>	グループ	<p>マインドマップに書き込む際は, 文字や絵など自由に使い, 視覚的にわかりやすいものにするように伝える。</p> <p>マインドマップで必要なブランチの書き方を説明する。</p> <p>食料援助と同じように, 映像や授業の内容を思い出しながらマインドマップを作成するように指示する。</p>	知識をもとにマインドマップを作成できるか。(思考・判断・表現)  マインドマップに, 食料問題が発生する原因やその背景を書き込めているか。(知識・理解)
展開 3 (12分)	<p>4 発表</p> <p>「現在, 世界で発生している食料問題はどのようなものか。それに対して私たちはどのような行動がとることができるのか」発表する。</p> <p>各班のマインドマップをipadで撮影し, プロジェクターを使って映しだしながら各班発表を行う。</p>	グループ	<p>2～3班を指名して, 黒板に映し出したマインドマップを使用しながら発表を行う。</p>	今後の展望をマインドマップに書き込み, これからの自分たちの行動について発表することができる。(思考・判断・表現)

まとめ (5分)	5 感想記入	個別	わかったこと, 感じたことなどを自由に記入する。	
-------------	--------	----	--------------------------	--

### (7) 板書計画

「世界で発生している食料問題を知り,  
これからの行動を考える」

ホワイトシート

### (8) 学習プリント・ワークシート (別添)

【参考文献】 評価規準の作成, 評価方法の工夫改善のための参考資料 (高等学校)  
<平成24年3月> <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>